募集馬番号 11

バアゼルザウバーの19

メス 2019年2月18日生 ｜ 芦毛 ｜ 美浦・小野次郎厩舎 ｜ 市川牧場生産

一口価格： **11,000円** ※2021年保険料 352円　募集口数：1000口【競走馬出資金総額 1,100万円】

育成牧場コメント（門別牧場・門別氏）

本馬の調整過程については順調のひと言です。早いグループで調教が進み、1月には15−15ができそうなくらいまで状態は上がってきています。仕上がりも早いのではないでしょうか。タイプとしては芝向きで、1200〜1600mの短いところが面白いかなと感じています。とても前向きでいい気性をしていますからね。普段の調教から前向きで真面目。併せ馬をしているとしっかり負けん気を出します。今のところは文句なしの優等生というイメージですね。早いうちから競馬場で活躍してくれることを期待しています。

治郎丸敬之の馬体診断

1年限り（2018年のみ）の供用ということで日本にやってきた種牡馬ザファクターの産駒ですから、一か八かの魅力でいっぱいです。ザファクター自身、2歳からダートの短距離を中心にトラックレコードを出して活躍していた戦績からも分かるように、馬体は筋骨隆々のマッチョタイプで、特に前躯が力強く、いかにもダートコースをかき込むようにして走っていた姿が目に浮かびます。おそらく産駒もそのような前躯が勝ったダートの短距離馬の馬体に出そうですが、バアゼルザウバーの19の馬体を見る限りにおいては、前後のバランスは非常に良いですね。胴部が詰まって、コロンと映る馬体であることは確かなので、距離はマイル以下がベストでしょう。トモにも実がしっかりと入っているので、もしかするとダートだけではなく芝の短距離戦でもスピードを生かして走るかもしれません。素直に馬体だけを見るとそれほど大物感はありませんが、これといった欠点もなく健康な馬体であり、気性も素直そうな顔つきをしていますので、早い時期からコンスタントに短い距離を走り続けてくれるのではないでしょうか。

※測尺・馬体重はHPで最新情報をご覧ください。